



『5月のつどい』は豊平区で開催しました



5月の「つどい」は5月20日(火)豊平区民センターで、26名の参加をいただき開催しました。「ちょこっと学習会」は、札幌市社会福祉協議会自立支援課の辻様より、「日常生活自立支援事業」について説明いただきました。この制度は、高齢や障害のために、ひとりでは日常生活を送る上で不安がある方が、地域で安心して暮らせるよう、社会福祉協議会がご本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を中心にお手伝いします。利用対象者は、判断能力が不十分な方(認知症と診断された方などに限るものではありません)、在宅で生活している方(グループホーム、有料老人ホーム、サ高住などを含む)、本人自らが事業を利用したいと意思表示している方、となります。その後のいつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

要介護1の夫60代を介護 妻

ケアマネさんの紹介で勇気を振り絞って参加しました。昨年、夫が車の事故や歩行異常があり、実兄の説得でやっと受診したところ、アルツハイマー型とアルコール性の認知症が強いと診断されました。車の運転や仕事がドクターストップになり、落ち込んで閉じこもり、入浴しない、髪を切らない、着替えない、行方不明になるなど困りました。鬱の薬処方、かなり回復し、子犬を飼い始めたことも効果があり、私も精神的に安定しました。まだデイケアなどに繋がっていません。

会員より

若くて身体も動くので、かなり頭の中が混乱されて理解できない状態と思われま。奥様の良い対応が少しずつ活きていると思います。今の状況をあまり急激に変えずに、様子を見られることが大事かと思。ご主人の望むことを拒否しないでください。また、運転の運転も事故の心配がなくなったと褒めてあげてください。認知症の人への対応は、怒らない、否定しない、褒める、共感する、おだてるなどがとても有効です。

要介護2の妻を介護 80代夫

妻は認知症と診断されて、訪問看護やデイサービスを週1回利用しています。家事は全て私がしています。今困っているのは、排尿の問題です。トイレの場所がわからなくなり、頻度も一日何十回と夜間も多いです。泌尿器科で薬を処方してもらっています。他に冷蔵庫内のものを全部食べたり、廃棄したり、財布を紛失したりします。家では入浴しませんが、デイサービスでは入浴しています。徘徊はいまのところありません。

会員より

介護者も休む時間が必要です。他の介護サービス

も検討してはどうでしょうか。夜間頻尿の件は、デイサービスを増やす、寝る前にトイレに行く習慣を付けたり、少し入眠導入剤を利用する方法もあります。

要介護1の母80代を介護 同居の娘

2年位前から母の様子がおかしくなり、同じものを大量に購入、料理や金銭管理ができなくなりました。包括に相談して脳神経内科を受診。その後、要介護1と認定されましたが、まだ介護サービスを利用していません。インターネットで札幌家族の会、今回のつどいにたどり着きました。今知りたいのは、認知症の人への優しい態度や声かけの仕方、働きたいという母の要望にどう対応すればよいかです。

会員より

金銭管理ができなくなった時、一緒にやってみようなど、ほっとする言葉をかけてあげたらいいと思います。仕事をしたいと言えるのはすごいです。介護サービス関係など一緒にお手伝いするボランティアなどを探してみるのもいいと思います。焦らず少しずつ自立支援事業の利用もあるかと思。います。

会員より

グループホーム管理者の経験から、声かけのヒントとして、オウム返しも有効です。肯定することで穏やかになります。利用者ではなくボランティアとして、簡単なお手伝いをしてもらっている小規模多機能施設もあります。認知症で役割を持つことは意味があります。

会員より

介護は皆さん頑張りますが、辛い思いをしないようにした方がいいです。サービスを多く使って、自分が楽になることは決して罪悪ではありません。そうすることで、気持ちに余裕ができ、優しくできると思。います。

6月のつどいご案内

【と き】 2025年6月20日(金) 13:30~15:30

【ところ】 北区民センター2階 講義室 北区北25条西6丁目1-1

【最寄駅】地下鉄:南北線「北24条駅」1番出口徒歩7分

※7月の「つどい」は厚別区で7月18日(金)に開催予定です。

ちょこっと学習会は
「高齢者の手助け」
“まごのて”からの予定

